

下関市立学校適正規模・適正配置基本計画策定に伴う地元説明会

1. 場 所：室津公民館 講堂

2. 日 時：令和 7 年 7 月 17 日 19:00~20:50

3. 参加人数：33 名（教育委員会を除く）

4. 主な質疑

■参加者

室津と豊洋中学校の数字が出ているが、隣接の川棚がどうなっているか。特に、川棚（夢が丘）中学校。川棚校区の中で、豊洋中へ行きたい人がいれば受け入れてもいいのではないかと。豊洋中学校は、令和 12 年度は少なくなって 1 年生が 16 人。川棚からこちらへ移ってくれる可能性があるかどうか。12 年度の川棚（夢が丘）中学校の数字をお願いしたい。

豊洋は令和 12 年度は、16 名、28 名、21 名で合計 65 名。数年経ったら中学校自体が少なくなる。

□教育委員会

12 年度の見込み、小学校 3 校の数字で、宇賀小学校の全学年で 7 名、小串小学校が 30 名、川棚小学校は 204 名。

■参加者

そうすると、中学校は 100 人前後いるという見込みか。

□教育委員会

中学校は 3 学年で半分なのでそうなる。

■参加者

2 年前に、豊洋中、誠意小、室津小の小中一貫で豊洋中学校にという計画があったと思う。それで現在の計画案では、豊洋中学校だったら生徒が多いので、何か駄目なような説明だった。以前は、1 学年 160 人ずつ全校で 600 人以上いた。だからその点については、当てはまらないと思う。

校舎について、誠意小学校が一番古い。老朽化して安全性もなくなる。立地条

件としても、今まで誠意小学校に通学した人は豊洋中に行ってもさほど距離的には変わらない。むしろ短くなる人が多い。室津からは遠くなる。だから豊洋中で小中一貫したほうがいいのではないかと思う。

安全性についても、誠意小は 191 号線の隣にあり、すごく交通量が多い。安全面に関してもちょっとどうかなということがある。

少子化はわかるが、小規模校の良いところは先生と児童がマンツーマンで授業できる。そうすると落ちこぼれが少なくなる。だから、もしかしたら室津小学校の方が平均的な点数がよいのではないかと考えている。少子化、少子化と言って学校をなくすようなことは、ちょっと考えた方がいいと思う。

教員の問題については新卒とOBを併用すれば解決できるのではないか。

スクールバスも維持費がある。スクールバスの運転手やガソリン代など、それにも税金を使う。豊洋小中学校なら今と変わらないので、それはいらないのではないか。この地区としては、室津小学校を維持したいのが一番と思っていると思うが、もし統合するのであれば、豊洋中学校が最低ラインではないか。室津地区は、150 年以上続いた小学校を廃止するということは、地区の住民は反対するのではないか。最低でも豊洋中学校なら納得できるのではないかと考えている。

□教育委員会

豊洋中学校の位置で施設一体型の小中一貫校という案については、3 期計画では出している。それ自体がよくないと思っているわけではない。まず増設に関しては、もともと豊洋中学校の校舎は 1 学年 3 クラスを想定して作っているので、普通教室だけであればぎりぎり足りる。今、豊洋中は 1 クラスずつなので小学校が入ったとしても、小学校が 1 クラスであれば普通学級は入る。しかし、普通教室以外にも特別教室が必要になる。すべて小学校と中学校が同じ教室で済むわけではない。あとは、近年いろんな課題を抱えている子供がいて、それに対応して個別の教育というニーズが年々増している。普通学級以外の教室のニーズが増えている。それについては、普通学級以外の教室で対応することになるので、統合をすることになり、そういったニーズを考えると増設は避けられないと思っている。整備に時間を要していると考えているので、まずは速やかに統合するのがよいという考えである。

誠意の校舎については古く、本市の学校施設は古い校舎が多いが、施設の長寿命化に取り組んでおり、この適正規模・適正配置基本計画の中でも、まずは既存の校舎を活用することを基本的に考えている。もちろん使えなくなれば、新しく整備することに取り組んでいかないとはいけませんが、それには時間がかかるので、まずは既存の校舎を使って統合する。特に小規模化が顕著になっている室津小については、そちらの取組を優先すべきと考えている。

通学の安全については、どちらの学校についても通学路の事情があってそれぞれに安全を確保していかなければならないので、それに関して、教育委員会としては安全対策をしないとイケないのはどの学校も変わらない。

適正規模・適正配置の取組は、小規模校の良さを否定するわけではない。先生に対して子供の数が少なければ、目が行き届きやすい、集中しやすいということで、学力向上の効果は出てくるものだと考える。そもそも学校の機能として、同世代の子供たちを集めて、子供たちがいろいろな個性と触れ合って、認め合ったり、協力し合ったり、時には切磋琢磨し競争したりする中で、学力以外の部分の成長も育む場所だということがあるので、それには一定の規模が必要だというのがこの適正規模・適正配置の基本的な考えである。

小規模になった場合でも学校はあるので、その中でできる授業の仕方、学校運営の仕方というのを、現在、教員の努力でやっている。複式学級は、非常に難しい授業を進めるという教員の努力がある。2学年を同じ時間で授業を進めるというのは、準備も2倍かかるという状況。なかなか難しい授業の進め方をやっているという課題がある。良い部分があるが課題もあるというところで、課題を解消するために、適正規模・適正配置の取組として統合を進めていくというのが計画である。

■参加者

今ある校舎を使うのであれば、室津小学校が一番新しい。スクールバスを利用するなら、むしろ室津小に来たらよいのではないか。

それと、複式学級について、3、4年前に参観日に行ったことがあるが、先輩と後輩が良い関係。例えば算数も、三角形とか平行四辺形とかの授業を見ても、その学年の考え方と上の学年の考え方とかいろいろある。同じ学級でそういうのが本当に児童のためになる。だから、複式学級が悪いということはないと思う。先生も楽しんでいるのではないか。複式は駄目とか、そんな感じで説明してもらっても困る。

誠意小学校に通ってる児童も結構いるが、安全ではない。誠意小学校まで行くのは、県道市道もある。室津からはスクールバスと言ったが、それも税金から出るので、そういうバスがなくても通学できる方法を選択した方がメリットが多いのではないかと個人的には思っている。

■参加者

室津から誠意小学校まで、4キロないからスクールバスは出ないのではないかな。

□教育委員会

まず複式学級の良さは、まさに言われた部分が良さだと思っている。良さも課題もある。どこまで小規模校の学級運営が許容できるかというところになってくる。今、室津小学校は22名。6年生が7名、2年生はいないということと、1年生と4年生が3人という22名。それから12年度の推計でいくと、全部で14名で、学年3人か2人という編成になっている。さらに少なくなった学校においては0か1かということになってくるので、それからどこまで小規模でいいかということになってくると思う。1人でも子供がいれば学校は必要だということで学校はあるが、それに関しては保護者の中でも心配をする声はある。令和12年の推計を見れば、複式学級の解消をすべきだというのが教育委員会の考えである。

スクールバスについては、先ほど声があったが、国の基準としては小学校は4キロ以上、中学校が6キロ以上が遠距離通学の基準で、それ以上通う距離がある児童生徒には、公共交通がある路線であれば交通費の支援があるのと、公共交通機関がない場合はスクールバスを運行するというのが現在運用しているやり方。スクールバスをどうするかということについては、小学校で今4キロだが、温暖化ということで子供たちの熱中症も非常に心配をしないといけませんが、教育委員会として、国の基準4キロを絶対的に守るべきかということ、やはり小学校1年生に4キロ、熱い中歩くということに関しては、それは長いという意識がある。それについては個々の通学距離の状況も確認しながら、統合を決めるという前に、やはり何度も地元の皆さんに…。

■参加者

わかりやすく基本的にはないと答えたらいい。いろいろ回りくどいこと言わなくても。

□教育委員会

現状はないが、検討はしないといけないと思っている。

■参加者

1つ言うが、前回確かに4キロと言わなかったが、質問されたときに教育委員会の人全部いたのに、そこで返事をしなかった。希望を持たせた。

議会の本会議で、議員が小学校の4キロというのはどこから出たか市長に質問をした。市長は4キロだったら絶対に出さないと言った。ただ、その時点で、何で説明会のときにそれを説明しなかったのか。要するに希望を持たせて帰った。その時点で4キロですから一言言えば済む。ところが、議員が本会議で

説明したら、市長が4キロ未満は出ませんとスパッと切った。あれを聞いて唖然とした。4キロということがわかっているのなら、何で皆さんの前ですぐ説明しなかったのか。あのときは教育委員会が希望を持たせた。

□教育委員会

過去の説明会で説明が足りなかった。

■参加者

足りなかったのではなくて、知っていることを市民に知らせなかった。

だから今やっていることも、10年前からやっているが、10年で3回変わっている。最初は統合。何で小中一貫が出たかという、前の教育長が自分の任期が終わって辞めようとしたが任期が続いた。その時点で、前から思っていたことがあると小中一貫を言い出した。それで下関が小中一貫に走り出した。ところが、それを言い出した教育長が途中でやめた。任期途中でやめた。やめる理由も何も言わなかった。10年経って方向転換が3回。それは事情があるから仕方ないが、前回ここを説明して5年経っている。5年間に豊洋中学校の受け入れ体制をどうすると今いろいろ言ったが、5年の間にできたはずではないか。いろいろ理由を挙げたことは5年間放っておいた。その5年の間に1回も説明がなかった。地域の意見を聞くと言っているが、5年間1回もこの会議を開いていない。私は常々10年間教育委員会にずっと通っている。一言、地域の方にいろいろ説明していると言っている。説明会も何も開いてないのに説明していますと。

■参加者

先ほどの関連で質問がある。

もうひとつの心配なテーマ。令和12年度の豊洋中学校の入学見込み数が16名。だから、令和12年度になったら、中学校の問題も出てくるのではないかと。それで夢が丘中学校区の人数を調べたわけである。おそらく、そういう人数になったら、夢が丘中学校へ通っている親で、豊洋ならいいよという人も出てきたら、豊洋中学校もこの問題は解決できるのではないかとというのが先ほど聞いた意味である。

それと、もう一度確認したいが、前の説明では、豊洋中学校で、室津小学校と誠意小学校で合わせて小中一貫校と言っていたが、今回は第3パターンで、誠意小学校と豊洋中学校を一貫校で考える、ただし建物は別。何が一貫校なのかと思っていたが、例えば、誠意小学校の方へ、中学校はいろんな先生がいて、芸術が得意な先生、音楽、美術科の先生とか、そういう人が時間を見つけて、誠意小学校へ行って授業をするというのなら賛成したいと思う。

中学校に行くと、数学はわかるけど芸術はわからない人、芸術はわかるけどサイエンスは苦手だという人もいる。中学校は教科があるので、これを弾力的に運用するという考えなら、それなりの価値があると思っている。

□教育委員会

スクールバスの距離について、前回の説明会で伝えなかったことについてお詫びを申し上げる。

■参加者

お詫びではない。要するに誠意がなさすぎる。今回も一方的な思いでやっている。そこまで言うのであれば、あれから5年経った、今度は5年間で状況が変わった、今回こういうのを出しますと、事前に一度説明ぐらいしないのかということ。さらに3月に会議をやっているが、その3月の会議がインターネットに出ていない。何でかということ3ヶ月かけないとホームページには出ない。ただ一番最後の3回目のことが今回のこれになる。その状況が全部市民に知らせていない。それでいきなりこれを持ってくる。それはあんまりではないか。これが最終案ではないというが、本議会で議員がこのことについて質問したら、考えは全く変える気はないと教育長が言った。現行のこれでいきますと。

室津の小学校は建って26年しかたっていない。今、誠意小学校の運動場は陥没している。ロープを張って運動場は入れない。休み時間はそこでブランコに乗っているだけ。体育館は雨漏りしている。室津小学校は全部きれい。運動場も100メートルの直線がとれる。

先ほど名陵中学の先生の意見を聞いたと言ったが、小学校の運動会はグラウンドは小さいから2周回った。中学校に行ったら1周ですむと。それで小中一貫でいいなんて言うことが悪い。単純である。

□教育委員会

小中一貫教育の件で質問いただいているので、そのことについてお答えする。

先ほどの施設分離型でもいいところがあるのではないかという意見をいただいた。実は一体型や隣接型と比べると、やはり分離型というのは課題がある。中学校の教員が専門的な授業を小学校に行って行うことは可能。ただ、そこに至るまでにその職員と一緒に職員会議をしたり、合同研修会をしたり、学校運営協議会を開いたりして、そういった情報交換を通して様々な行事を一緒にしたり、児童生徒の触れ合い、中学校教員が小学校に行って授業をしたりとか、そういったことが可能になると思う。ただ、今でもそういったことはおそらくされていると思う。中学校の先生の出前授業を小学校でやっている、小中連携であったり小中

一貫であったりというのはされている。

ここの室津小学校、誠意小学校それから豊洋中学校でも、小中連携、小中一貫は今でもしっかりと進められている。では何が変わるのかと思われるかもしれない。今回、室津小学校と誠意小学校が一緒になることで、1小1中になる。1小1中になると小中の繋がりが今以上に、中学校の先生からすると室津にも誠意にも出前事業に行かなければいけなかったのが1つと1つになるということで、より小中一貫教育が進むのではないかということが期待できる。ただ、一体型と隣接型に比べると課題はたくさんあって、教員の移動や子供たちも移動する。例えば6年生が中学校に行って1日そこで過ごすとか、中学校に6年生が行ってそこで中学校の教員から授業を受けるとか、そういった取組等もできるが、そこに児童の移動があるので、このあたりは隣接型や一体型とでは、課題が大きいかなと思う。

よしみ小中学校が今年から開校している。まだできたてで、なかなか取組も進んでいないのが現実だが、小学校6年生が1日過ごせる教室を作って、そこに6年生が1日過ごせるような体制を整えたり、小学校1年生が中学校に行って、学校探検をしたりとか、少しずつ取組が進んでいる。実は今回の計画で、小中一貫教育校の型というのが3つ示されているが、どこでもこれは一体型のほうがいいのではないかと言われた。ただ、このよしみ小中の取組を、しっかりと教育委員会としてもサポートして、取組、実践を、これから小中一貫教育校の分離型ができたときに、ぜひ活かせるようにしていきたいと考えている。

■参加者

私は中学校で英語を教えていた。小学校で中学校の先生が教えるのはとても難しい。小学校で教えるのはすごい専門知識がいるので、中学校の先生がたとえ芸術教科であれ小学校で教えることは、そんなに簡単にできることではない。複式学級で教えるのと同じくらい大変なこと。

それから、小中一貫はまるでいいように言うが、つくば市では全部小中一貫にして大失敗して、今新しく作る学校は全部小中一貫を認めていない。2日前に黒井地区で説明会があったが、その時に聞いたことで、今回の小規模校をなくすということについて、小規模校の生徒の成績が劣るとか、生活面でのマイナスがあるという基本的なデータがまずない。文科省がそう言っているだけで、数字の上で小さい学校の生徒がこれだけ点数が下がってるとか、これだけ生活規範意識がないというのはデータがない、というふうに言った。数値的なデータはないと言った。

それと、これは声を大にして言いたいのが、前回の小中一貫のときは中1ギャップというのをすごく言われた。現在は中1ギャップはないと結果付けられて

いると思う。ありもしない状況を作り上げて、小中一貫にしたらそれがちゃんと解決するみたいな言い方はやめていただきたい。

今説明した人が、2 日前に、いかに複式学級が良いかという話をした。問題はあるけど複式学級はいいところもいっぱいあると言った。今日ここに来て、何と云うかと思ったら、結局複式学級は良くないという話をした。それは詐欺と同じではないか。

教育委員会について言うと、教育委員会が憎いわけではないが、10 年か 20 年前に、2 学期制にしたらいいいという話があった。ちょうど子供が 2 学期制の話し合いのときに、先進的なことをやっているからといって豊洋中学校は 2 学期制になったが、おかげで成績がすごく下がってしまった。その成績が下がったということが、2 学期制でわからなかった。

それから川中中学校は教科教室を一番最初に取り入れたが、今は止めている。だから先進的なものとか、文科省が言ってることを信じてもいいことはないと思う。

■参加者

小中一貫で大失敗とは具体的にどういうことか。

■参加者

小中一貫の失敗は、1 年から 6 年までの間に、6 年生になったときに学校を引っ張っていくというリーダー制を発揮できるが、小中一貫になってしまうとそれが発揮できなくなって、すごくたるんでしまう。それから、中学校にしてみれば、小学校 1 年生の子たちがガヤガヤするとか、図書館にいても小学生がギャーギャーするとか、すごくマイナスだったというふうに聞いている。本で読んだだけなので、ちょっとそれ以上詳しくは言えないが、とにかくつくば市ではもう一切作らないとなってる。

■参加者

それは生徒数とかいろんな関係があるのではないか。

自分は、分離型よりは一体型の方が、将来の教育施設には、理にかなっていると思う。自分は教育は素人だが、小学校教員と中学校教員の共有化がまず図れる。あなたは英語の先生とか言われたが、英語教育についても、小学校から中学校一体型の方が伸びる可能性の方が高いと思っている。自分は学力はなくてだめだったが、英語の大切さはずっと認識している。一体型の方が、生徒個人個人が、義務教育の 9 年間で成績を伸ばすのではないかと思う。特に英語教育はそうではないかと思う。

■参加者

議事録はとっているか。

□教育委員会

作る。整理をする。

■参加者

今日の説明会で、説明会が終わりました。室津の意見として、パブリックコメントで出すのか、それとも意見を統合して出すのか、そういうことを望んでいるのか。

□教育委員会

意見はここで統合していただくということではなく、説明会でいただいた意見、口頭でいただいた意見、それからアンケートにも書いていただいて、別にやっているパブリックコメント、そういったものをすべて意見として判断させていただきたいと思っている。

■参加者

前回のパブリックコメントは23件ぐらいしかなかった。件数が少ない。期間も短い。全然意味がないかなと思う。少数の意見の人、ぎゃあぎゃあ言う人がするのではないかなというのが1つ思った意見。あと、議事録はちゃんと出てくるのか。

□教育委員会

議事録はある。

■参加者

それと、誠意小学校は建てて何年か。前の方を56年にやっているので後ろの方はそれ以前。建造物の種類は？耐用年数は？

□教育委員会

最も古い校舎が昭和34年。いちばん大きい校舎が昭和56年。一番古いものは鉄筋コンクリート、耐用年数は47年。

■参加者

もう過ぎている。誠意小学校では環境が悪すぎる。国道が通っている。今の室

津小も児童が少ないが、学校が終わったら保護者が車で迎えたりする。もう 10 年もすれば、豊浦町ではスクールバスも利用するかもしれないが、送り迎えで絶対車が来るのは間違いない。今でも来ている。誠意小学校の敷地は、あの交通量のところで送り迎えすると言ったら、環境があまりにもよくないと思う。

それと、3、4 年前にこっちに来たときに、下関市のホームページを見て、室津小学校の統合とかが載っていた。豊洋中学校に一括になるというのはいいことだと思った。

でも誠意小学校に行くのであれば、誠意の人が室津小学校に来た方がよい。まだ 26 年。

■参加者

あれは豊浦町のときに作った。この問題がでてきたときに、誠意と川棚と最初に出た。その時点で、あの学校は豊浦町が作ったと教育委員会が言った。合併しているのに。この意見を聞いたときに唖然とした。あれは豊浦町の時代に作ったと下関市が言った。豊浦町は、宇賀と室津と 2 個作っている。いかに豊浦町は教育に関して素晴らしいところだったか。合併して 20 年たって、今でも市内の学校を旧市内、4 町のことを総合支所管内と書いている。20 年経っても下関市ではない。

□教育委員会

せっかくの機会なので多くの方から意見をうかがう。

■参加者

前回の説明のときに、豊洋中で小中一貫という説明があったので、その時は中学校も一緒だから仕方ないと思ったが、今回分離型で、誠意小と豊洋中。これは将来もそういうことか。

それと、設備に関しては室津の方がはるかに良い。グラウンドに穴があくような小学校で子供を学ばせ、不安定なところで学校生活をさせるのは考えもの。新しい室津に来ればよい。何を基準に決めたのか、ただ生徒数で決めたのか。環境を考えたり、適正とか教育水準の維持とか、そういうものは何を基準に誰が決めたのか。大人が考えたことだけ。子供たちにとっていいもの考えるのが大人の役割。ただあそこに持ってけばいいという考え方はやめてほしい。子供たちの良いように進めてほしい。

□教育委員会

計画は 5 年間の計画で、その間に達成できなかつたら見直しをしている。今の

計画は今時点でこれがベストだという考え方で示しているので、例えば遠い将来どうなるかわからない。

■参加者

先ほどから言われているように、もう5年も経っている。そして、作るのに時間がかかる。なぜその5年間に考えてやらないのか、やるという気持ちがない。豊洋中学校のところで、5年間あればいくらでも作れている。何か言ったらすぐ予算がないというが予算は作るもの。やるという気持ちがあれば、予算は作れる。それで安全でもないところに子供を通わせる。そんなばかな話はない。そういうところをよく考えてほしい。

□教育委員会

安全が一番大事なところなので、各学校については安全を図っていく。

子供たちのこと考えてというのはおっしゃる通り。これは子供たちの環境を考えて、どういう形がベストか、大人が考えたといえはその通りだが、大人でも子供たちのことを考えて、これがいいのではないかという形で示したことを理解していただきたい。

■参加者

誠意と室津の自由校区に住んでいて、下の子が室津小学校に通っていた。

5年間の間に、毎回説明のときに、少子化少子化、子供数の減少と言っているが、その間に少しでもこの地域を守るため、みんなで一緒になって、何かこの地域を盛り上げていこうとか、子供たちを増やしていこうとか、何か工夫をして、この小学校を残すための工夫を考えたか。地域の方たちにも責任というか、説明会の後、保護者の意見がどうだったかとか、子供たちがどう思ったかとか、それから地域でみんながどう思っているかというような集まりもなかったのではないかと記憶の中ではある。だから、こういう話が出てくる前にもっとみんなで考えなければいけなかったと思う。

先日の黒井の説明会の後に、子供から電話があったので、今日説明会に行って、室津小学校がなくなるかもしれないという話をしたら、それは困るとのこと。どうして困るか聞いたら、小学校が好きだから。どんなところが好きだったか聞いたら、地域がとてもあたたかかった、地域の人たちがいろんなことを教えてくれて、いろんな人と交流して、地域の方がとにかく大好きで室津がいいとのこと。今はここには住んでいないが、将来的にはここに帰ってきたいくらいの思いがある子供に成長してくれている。それがすごくうれしくて、本当に地域の方には感謝したいと思っているので、今日ここで発言させていただいた。だから小学校

を残してほしい。

前回の説明で、豊洋中学校に統合されるかもしれないという話だったので、豊洋中学校だったら仕方ない、子供たちが複式で 1 人 2 人になった時のことを考えると、豊洋中学校だったら仕方ないと思っていたのに、誠意小学校ということで、ちょっとびっくりした。上の子が誠意小学校に通っていたときに、通学が心配で心配でたまらなかった。そういうことも保護者に説明もなく、こういう説明会が開かれることはどうかなと疑問に思う。

□教育委員会

まず最初にその地域を盛り上げる策ということで、教育委員会も小学校を減らしたいわけではないし、子供が減っているのを良しとしているわけではない。ただ少子化は全国的に進んでいて、下関も例外ではないので、子育て施策を最重要施策という形で、いろいろな施策を教育委員会だけでなく、全部局横断的に進めているが、それが結果になって表れていないという状況である。

それから地域の話があって、地域が好き、小学校が好きというのは大変すばらしいことだと思う。小規模校や、複式そのものが悪いとは思っていない。ただ、大規模校にも大規模校の良さ、そこでできる交流とか切磋琢磨というのがあって、小規模校ではできない体験をして欲しいという思いもあってこういう形にしている。賛否両論は承知しているので、そういう話があったことは持ち帰りたい。

それから、豊洋中だったらという話。一刻も早く、できるだけ規模を確保したいというところから現在の案になっているので、そういう話があったことは持ち帰らせていただく。

■参加者

この計画案は令和 11 年度までだが、この途中で統合することはあるのか。

□教育委員会

基本計画ということで、過去から 4 期目で 5 年計画という形にしている。これは基本計画であって、実施する計画ではない。例えば、計画期間が令和 11 年だが、そこを迎えたらいやおうなしに統合するという話ではない。この 5 年間の計画で統合すべきと考えてはいるが、これにあたっては、地元の皆さんと話し合いの上で、最終的に合意をすれば、実施に向けて次のステップに進めるという形になる。今までの統合のパターンで言うと、PTA、自治会、学校運営協議会等の方々が参画するような協議会を設けて、議論をして、最終的に地元の意思表示を確認した上で統合に向かう。それがない限り次に行くことはない。この 5

年間の間に合意すれば統合に向かう。合意した後に、今までの事例でいうと、最低でも２年はかかると思っている。そこまでの過程が早ければ５年の間に統合という結果になることは十分あるが、地元で統合の意向が見えなければ、この計画を実行することはない。

■参加者

例えば、令和９年で統合するとなったときには、そこから２年例えば最短で１年、もしかしたら令和１１年中に統合の話が完成になる可能性もあるということか。

□教育委員会

統合に地元として合意になって、次に統合に向けた準備をしましょうというところで、最初に何を決めるかという、統合の時期を決める。これも地元の意向で、いつ頃新しい学校をスタートしようかという、これを今まで統合した学校はすべて、そこを決めてからそれに合わせて準備を進めていった。今までのパターンで言うと、最低でも準備に２年かかっているというのが実情。

■参加者

耐用年数も含めて、なぜ誠意になったのかもうちちょっと詳しく聞きたい。

□教育委員会

２つの学校を統合するということで、３期計画では豊洋中の位置であったが、豊洋中での増設よりも早く統合ということで、そうすると室津小の場所か、誠意小の場所かという選択になる。これは、端的に言うと人数のところがあるというのは事実。どちらかがなくなって、どちらかを採用することになるので、室津が残るか誠意が残るかということになる。やはり、人数の多い学校を動かすという判断はしづらかったということが理由になる。これが一番の理由になる。

■参加者

今年１年生だったが、小学校に入学する前の就学時健診のときに、誠意小学校から通知が来た。いろいろと考えたが、誠意小学校に行くのはちょっと危険と思った。最近夏も暑いし。誠意もいいけど室津がいいよという周りの意見もあって室津を選んだが、行ってみてやっぱり室津を選んでよかったというのは私個人の意見。室津小学校は、できれば残してもらいたい。そういう意見があるというのも教育委員会に知っていただきたい。

■参加者

今あったように、例えば誠意小学校の校区では一ノ瀬という山奥のところがある。その人は絶対に室津には行きたくないと思っている。そのように、自分はいそへ行きたくないということは同じようにあるかもしれない。仕方ないから、第3の方法しかないかなということ。仕方ないからで、好んで勧めているわけではない。仕方なく行くしかないのであれば、我慢をしなければならない。

■参加者

今の質問だが、校区変更とかできるのか。子供と話して、自分があっちに行きたいと言ったら、教育委員会に届け出れば校区の変更ができるのか。

□教育委員会

現に32名が校区変更で通っている。ただし、どこに行ったかということは、個人情報から教えられないことになっている。

■参加者

ここは室津の会場なので、皆さん小学校を残して欲しいというのが思いで、統合するのもやむなしで、豊洋中でもあると思う。

黒井の方では、誠意小統合しますよという話で、耐用年数とか考えたときに、皆さんが誠意に来るのだったらいいよという感じなのか、それとも誠意は古くから室津はどうなのかという意見も上がっているのか、誠意しかないという感じなのか。

□教育委員会

一昨日、黒井公民館で行ったが、小規模校の良さや課題などで、小中一貫の場所の話よりも、根本のところの意見のやりとりがかなり多かった状況で、誠意小の場所がどうこうというのは、説明会の中では出てきていなかった。

■参加者

手元に意見の紙を配っているが、この紙をどうやって教育委員会へ提出するのか。今、適正規模・適正配置計画の意見書というのがあって、これはファックスとか、電話とか、メールとか、それが使えるようにちゃんと番号が書いてある。

子供も全員が室津小学校で、地域の方が体験とかいろいろなことをしてくれるのでとてもありがたい学校だと思っている。誠意と室津が一緒になって、豊洋で小中一貫をつくれば、皆さん納得するだろうと思っている。

豊浦町で、川棚に全部持ってくるというので、今の夢が丘中のところに空地や

グラウンドがあるので、夢が丘小学校ができれば、小串の人も宇賀の人もとても喜ぶと思っている。そういったこともちょっと考えてみてはどうか。

□教育委員会

本日配付のアンケートについては、この場で書いて帰りに出していただくことを想定している。今日書ききれなかった場合は、パブリックコメントを実施しており、今月末までインターネットのホームページから意見を出していただいたり、あと、いろいろな公共施設で意見を出していただけるようになっているので、そちらで意見を出していただいてもよい。いずれにしてもその意見はすべて確認をする。

■参加者

先ほど保護者2人が意見を言ったのでそれが聞けたが、一昨日黒井公民館であった黒井地区の説明会も参加したが、そちらは22名の参加で、自分がわかる限り保護者のような人はいなかったと思う。説明会の中でも、川棚で説明会がないのはなぜかという質問があったりしたが、多分、2期に室津小が誠意に統合されるというときは、確かに誠意の方の説明会もなかった。誠意の人に伺ったが、今回も受け入れ側である誠意からすると、あまり関心がない。安心しているのか、とにかく保護者がいなかったのが残念。

そもそも、平日の夜に公民館で地元説明会のご案内というチラシには、保護者や地域住民の皆さんへの説明会を開催しますとあるので、保護者向けの説明会が学校であるということはないのかと思う。保護者に一番関心を持っていたきたい。若い人に。さっき誰のための統合かという意見もあったが、例えば土日の昼間に学校で開催して、そこに地域の人に参加をする方が、保護者も来やすいのではないか。今日は、お母様方もせっかく来ているので、一番最初にあった、複式学級がどうなのかとか、小規模校がとかというようなことを、今、実際複式に子供を通わせている方がどう思っているかを、せっかくなので伺いたい。

■参加者

説明会を分けた方がよかったと思う。保護者とこれから小学生になる子供の親に向けて話してもらった方がよいと思った。複式学級は現状はいいが、今年度が全校児童22人で、2年生が0なので1年生が寂しいところ。来年も1年生が入ってこないのかなという心配はあるので、個人的には統合しても仕方ないと思った。

ただ、その統合するのがいつなのか。決まったら何年前に教えていただけるのかというのは気になっている。自分の子供が、もう下の子が3年生なのでちょ

っと対象外になるのかなとなると、興味が少し薄れている。

■参加者

黒井でやって出席が22名とのこと。児童数は178名いる。

前回説明会を開いたとき、保護者に聞いたら、うちの子供は卒業するから関係ないと言った人が多かった。178名の児童がいて、その説明会は22名。5年先にしても、2年生3年生の子供はまだ該当する。その親も出席していない。いかに説明会の仕方がまずいかということ。

それと、これが開かれるとき、誠意と室津をなぜ分けてするのか。1つはなくなる、1つは存続する、それを別々に説明したら説明にならない。同じ地区で。それと、子供子供というのであれば、誠意の子供を1度室津小学校に連れてきてみなさい。あそこで100メートル走らせてみなさい。子供はどちらを喜ぶか。誠意に通っている子供を、室津に連れてきたらどうか。そして子供に聞いて、どちらの学校に行きたいかをやる。先ほど親が決めたと言ったが、それなら子供にさせてはどうか。誠意小学校の子供を1日でも室津に連れてくるとよい。夏休みでも。現実グラウンドは使えていない。ロープを張って。そこに子供を行かせたくないのが正解。ただ、現実にはそこにしか通えない。子供を連れてきて、室津で1日体験学習させた方がよい。

□教育委員会

説明会を1度にということについては、こういった形であるのが良いかは悩みながらやっている。分けたことに関しては、合わせてしないほうが良いのではないかという思いがあった。

地区の違う方が混じって、非常にデリケートな話なので、実際意見も言いづらい場面もあるかと思うし、感情的な部分も出てくるかというのは正直思っており、なるべくなら地区ごとにやったほうが良いということで、こういう形で開催した。考え方はいろいろあると思うが、一緒にするよりも分けた方が本音の部分が聞けるのではないかという思いで分けた。考え方はそれぞれあると思うので、それは意見としてはお伺いする。

■参加者

一番問題が起こらないことをやっただけ。

□教育委員会

それも意見ということでお伺いする。

■参加者

10 年間教育委員会とつき合って、全部そちらの考えで進行している。そこに
いる人も 2 年 3 年で変わる。

□教育委員会

それも行政の中の課題として、意見ということでお伺いする。

■参加者

先行事例として豊北が学校統合した。その結果、地域がものすごく衰退してい
る。昨年確か子供が 1 人ぐらいしか生まれていない状況になっている。教育委
員会はそういうことは言わないので、学校が一緒になっても大丈夫だろうと皆
が思うとしたらものすごく大変。1 時間もかけて車で通っているような子供た
ちもいる。それはこの前の黒井での説明会のときにもそういう意見が出たが、今
日の段階ではまだ議事録が出ていないのでどういう意見が出たかは分からない
と思う。

もう 1 つ確認したいが、黒井で出た意見で、現状は 1 合目から 10 合目まで
のどこの段階にあるかと言ったら、市教委はまだスタートラインに立っていない
と言った。まだこの計画は何も進んでいないと、地域や保護者からそういう要
望があって初めて動くんだということだったので、決めるのは多分皆さんじゃ
ないかなと思う。その場合に、わかりました学校統廃合しましょうと言って話が
進んだときに、途中で、例えば途中の見守りは誰がするんだとか、そういうこと
でいろいろ大問題が起きて、やはりこの統廃合はちょっと待とうと言ったとき
に、途中で止められるものなのか、それとも 1 度動き出したらもう動いたまま
になるのか。そこを確認しておきたい。

□教育委員会

先ほど手順的なところを説明して、まずは統合をすべきかどうかというところ
を、地域で結論を確認して、統合に向かっていくというのがわかった場合に次
に進む。確認の仕方は様々あると思うが、今まで多かったのは協議会の形で、そ
の中から書面をいただくというのがわかりやすいのでそれでやってきた。その
あとに、いつ統合するか、学校の名前をどうするか、校歌や校章、それから制服、
そういったものを決めていかないといけない。新たな通学路の安全も確認して
いかないといけない。今の質問は、合意を確認して次のステップで話をしたけれ
ど、こんな話ではなかったというような話になったときに、この進んでいる話は
どうなるかということだが、今までの事例ではなかったが、地元の協議をしてい
て、これはちょっと進まないとなれば、教育委員会も進められないと思う。そう

なると、一旦ストップになるのかなというふうに思う。一旦進んでいるのは、例えば校舎の改修とか、制服の準備とか、そういったお金に関わることが動いたとすれば困った話にはなると思うが、ただこうした部分が、その通りにならなかったら、その時点で進めるという判断はできないのかなというふうに思う。そこは、その場面でどうするかというような話をしてみないとわからないが、今お答えできるとすれば、話はちょっとおかしくなっているのにこれから進められるかという、進められないなと思うので、一旦立ち止まるしかないと思っている。

■参加者

室津の人が集まって、小中一貫で豊洋中学校に望む意見として、こうしますという意見を出した方がよいのか。

□教育委員会

最終的に、地区で話して統合したほうがいいという結論が出たら、その段階で結論を出していただく。

■参加者

いつまでたっても話が進まない。来年も小学生が入るか入らないかわからない状況。みんな小学生が5, 6人になることは分かっている。だから、豊洋中学校に施設をちゃんとして、そこで小中一貫をしたいと思ってる人は多分多いと思う。だからそれを室津地区の意見として早めに出したほうがいいのですかという話。そうでないといつまでたっても進まない。3年先なら、来年に室津の意見として出しますから早めにやってくださいと要望書を出せばいいのか。ホームページのパブリックコメントに、みんながダーッとメールを送ればいいのか。それとも自治会長やPTAの連名で、今年中に出しますから早くしてくださいと出せば進めていただけるということか。そうしないとまた5年先、また同じようなことがある。うちは出しました、ボールを投げましたという話。今はまだ投げていないのだから。そうしないと動かない。

□教育委員会

それは豊洋中学校に統合するという話か。

■参加者

それはわからないが、室津を統合する。何回もしつこいが室津はもう数人しかいないのはわかっている。事実だから仕方がない。室津小学校は豊洋中学校へ行

くのだから、それなら仕方ないと個人的には思う。これから話をしてみないとわからないが、早めにしないと、また5年先また同じこと繰り返してはいないか。

□教育委員会

どういう形になるかわからないが、計画ができれば地元の方とお話をして、合意いただけるようにいろいろ説明をしていきたいと思う。

■参加者

だいぶ前に室津幼稚園がなくなった。その時に署名を自治会長が持って行ったが、それが事後説明になっていた。この第4期の案が事後説明にならないようにお願いする。

■参加者

うつい小中学校で導入された小規模特認校制度とはどういう制度か。

□教育委員会

小規模特認校制度を導入して、通常は学校ごとに校区が決まっていますがその居住地の学校に通うのが通例だが、うつい小中学校の場合は、通学区域を下関市内にしている。市内のどこからでも通えるというのが1つで、この小規模特認校というのは、その学校での特色ある教育、例えば小中一貫でやっているが、内日の資源を生かした教育をやっている。教育活動に賛同し、行ってみたいという子供が保護者の責任のもとに登下校させて学校生活を送るところ。通学区域は下関市全域になっている。

■参加者

その制度は、内日地区からそういう制度を導入して、小中学校を存続させてほしいという要望が出たのか。教育委員会からこういう制度があるからということだったのか。室津、豊洋地区ではそういう制度は導入はできないのか。

□教育委員会

内日の場合は、いわゆる通学区域の弾力化に関わる学校選択で、いわゆる適正規模を図るための制度利用ではない。もともと地元の意見はあったと思うが、地理的にも下関市の真ん中あたりにあって、通学も全市から通いやすい。そうしたときに、市の範囲でできる小規模特認校を導入してみてもいいかというところがそもそものスタート。時間はかかったが、少しずつ子供の数が増えている。両方の思いというか、絶対やりましょうという形ではなく、自然にそういうふう

な形になった。

■参加者

室津も通しやすい地区と思うし、山も海もあって自然が豊かで導入しやすいような地域だと思う。もう少しわかりやすく地域の人に説明して、そういう制度を導入したりとか、地域をなくさないために、学校をどうやったら存続させられるかということを、もっとみんなで考えていきたいと思う。